

**国際会長テーマ
地区運営方針**



足跡をしるす

私たちは、奉仕するたびに、
持っているものを与えるたびに、
優しさと思いやり、
変化と希望をもたらしています。

そして私たちはふれあう人の心に、
奉仕する地域社会に、共に分かち合う世界
に、足跡をしるしています。



ファブリシオ・オリベイラ

2024-2025年度
ライオンズクラブ国際会長

奉仕に命を吹き込む

「ブラジルは世界の”肺”です」。ファブリシオ・オリベイラに、彼の母国について尋ねたら、こんな答えが返ってくるだろう。緑に覆われた大地と、それを縁取るターコイズ色の海岸線。その中の小さな町で、起業家精神旺盛な布生地商の息子として、ファブリシオは生まれた。

18歳の頃には、すでにこの家族経営の商店の一員として、平日は勉学に励みつつ、週末は商売のため各地を駆け回った。若い時から常に結果重視だったというファブリシオ。

「昔から仕事は早いほうです」と笑顔で振り返る。

実業家として絶好調の22歳の時に、アマリレスと結婚。二人が育ったカトレドホシャは四季のない熱帯気候だが、ファブリシオ・オリベイラは全天候型、オールラウンドな男だった。

ビジネスマンとしては、数々の取引を成功させ、前途も洋々。市民としても、複数の公職に任命を受けるほどの成功を収める。しかし、何か物足りなかった。

そんな彼に転機が訪れたのは、1985年のある夜だ。

当時ファブリシオとアマリレスは、週末ごとにさまざま社交行事のため集まる友人グループの一員だった。メンバー数人がすでにライオンズクラブの会員になっており、ほどなくオリベイラ夫妻にも入会の誘いがあった。

断ることはとてもできなかった、とファブリシオは言う。「親しい友人でしたから。それに、ライオンズには特別な何かがあると感じました。お世話になった地域社会に恩返しをするチャンスかもしれないと」

ファブリシオ・オリベイラとその夫人をライオンズに出会わせたのは、ほんの一度のシンプルな誘いだった。

「こうしてライオンになったことが、すべての始まりでした」とファブリシオは振り返る。

招きに応えた。社会奉仕への決意を胸に動き出した。そしていよいよ、小さな村カトレドホシャの若者が、それまでの人生で学んだことを、新たな歩みに活かす時が来た。ライオンとしての歩みだ。



”ライオンズには特別な何かがあると感じました。
お世話になった地域社会に
恩返しをするチャンスかもしれないと”





すすんで前向きに生きる極意

「自然そのままの美しさがあります」。ファブリシオはブラジルについてこう言う。「それが素晴らしいのです」

しかし彼がライオンズに入会した当時、地元には清潔な用水を得られない地域があった。そこで、ファブリシオはクラブとともに行動を起こした。

こうして、地元の貧しい地域に浄水を届けるための手作りのセラミックフィルターを購入するため、必要な資金を集めたことが彼の初めての社会奉仕事業となった。この事業は地域社会に水だけでなく、それを切実に必要としていた子供や家庭に、健康、福祉、幸せをももたらしたのだった。

「素晴らしい経験でした」。ファブリシオは回顧する。「機材を持ち込んだ時、人々の喜びと笑顔が目に見えてきました。奉仕活動がいかに大きな力を持つのか、ライオンズがいかに重要な存在なのかが理解できました」

その時から振り返ることはなく、ただ前に突き進んだ。奉仕が彼を目覚めさせたかのように。

ファブリシオは、日々のライオンズ活動でも、人生から得た教訓とビジネスマンとして経験を活かしている。そして、与えれば与えるほど、得るものも多いと感じている。



"奉仕活動が
いかに大きな力を持つのか、
ライオンズがいかに重要な存在なのか
が理解できました"

「多くのことを教わりましたし、今も学び続けています」と彼は言う。「ライオンズは私の第二の大学です」

ライオンズはまた、ファブリシオにとって第二の家族ともなった。大きな可能性を秘め、他にはない前向きさにあふれる、グローバルな家族。そんな家族の先頭に立ち、リーダーを務められることを、彼は光栄に思っている。

「ライオンズは、多くの地域社会と、多くの人の人生を、大きく変えてきました。私の人生も例外ではありません」

ファブリシオが新会員の勧誘と新クラブの結成に力を入れる理由はここにある。自分が感じているのと同

じやりがい、同じ充足感を、より多くの人にも体験してほしいからだ。

ファブリシオ・オリベイラは、これからもライオンであり続ける。また、実業家としての視点から考え続ける。だからこそ、彼は確信する。物事の主導権は、それを掴む者のところにやってくる、と。私たちには、偉大なことを成し遂げる力があるが、同時に偉大なことを成し遂げる責任も負っている、と。

そして、私たちが才能とスキルを地域社会の変革に役立てれば、世界に永続的な足跡を — 私たちの足跡を — 残すことができる、と。

2024～2025年度 会長メッセージ

足跡をしるす

ライオンズは誰もがリーダーです。

そしてリーダーは知っています。人々が強い信念を持って、ともに行動すれば、コミュニティ全体が動き、変わることを。そして、その生き生きとした元気な地域社会をつくりだす過程で、私たちは足跡をしるしています。

私たちリーダーは、クラブを通じて、そして奉仕という使命を通じて、人と人を結びます。コラボレーションを促すことで、誰もが無理だと言うことをやってのけます。イノベーションを採り入れることで、大胆な奉仕のビジョンを実現します。志のある人を奉仕に誘うことで、ライオンズとして一緒に活躍するチャンスを与えます。そして、新会員を一人増やすたびに、奉仕の未来に足跡をしるしているのです。

力を合わせて、私たちは助けを必要としている人に手を差し伸べます。ともすればかき消されてしまう声を、大きくして届けます。ライオンズにしかできない方法で、人の暮らしを変えます。こうして出会う人たちの人生、奉仕する地域社会に、私たちはいつまでも残る足跡をしるしているのです。





ともに私たちの 足跡をしるす

毎日がライオンズとしての足跡をしるすチャンスです。ですから、行動を起こしましょう! 以下の国際方針に目を通し、ライオンズを、そして私たちが奉仕する地域社会を強化するために、どうやってこれを実践していけるか、考えてみてください。

もっと多くを与えるために成長しよう

奉仕の必要性が高まるに伴い、私たちも成長する必要があります。新会員を招き入れ、新クラブを結成することによって、ミッション1.5の目標を達成しましょう。私たちの地域社会に、より多くのライオンズによる、より多くの奉仕をもたらし、世界で年間10億人への奉仕を実現しましょう。

力を合わせてもっと強くなろう

私たちのグローバルな財団は、ライオンズの奉仕を支援し、世界に持続的な変化をもたらせるように活動しています。ですから、いつでも、どこでも、力を合わせて奉仕する態勢を整えられるよう、LCIFをサポートしましょう。

次のステップを踏み出そう

クラブと奉仕を拡大し、ライオンズとしてもリーダーとしても成長するため、リーダーシップ開発の機会を最大限活用しましょう。クラブ内で、地域社会で、奉仕を前進させるためリーダーシップを発揮する新たな機会を探してください。

地域社会でのイメージアップを図ろう

ライオンズの活動は非凡なものです。優れたマーケティングやPRを行うことで、ストーリーを伝え、地域社会の耳目を集め、イメージを向上することができます。ですから、あなたの奉仕をPRして、ライオンズの仲間に加わるよう皆を誘いましょう。

小児がんと闘う
青少年にとって、
ライオンズの
ボランティアは、
実在する
スーパーヒーロー。





偉大な社会奉仕の足跡

ライオンズは模範を示します。これまでも、これからも。以下は、あなたが奉仕活動における真の可能性を解き放ち、仲間のライオンズの可能性を引き出す上で役立つ、成功の秘訣です。

つねに先回りして行動を
地域社会には困っている人がたくさんいます。助けを求められる前に行動すべきです。こちらからニーズを見つけ出し、行動を起こしましょう。この姿勢こそが、地域社会の期待に応えるために必要なものであり、ライオンズが他の団体とは一線を画すゆえんでもあります。

あなたのビジョンを形に
誰もがピンチだと思うところに、私たちはチャンスを見出します。ですから、奉仕のビジョンを描いてください。そのビジョンに周囲の人を巻き込んでください。その上で、大胆に考え、毅然として行動し、奉仕事業を形にしましょう。

よい結果に目を向ける
プラスの結果に目を向ければ、最大の成果が出ます。地域社会にどんな変化が必要なのかを見極め、その実現に向けた計画を立て始めましょう。





We Serve

足跡をしるす

未来を形作ろう

2024-2025年度地運営区方針

3つの目標

① 【会員の拡大】

新しい会員に入会の機会を積極的に働きかけたいと思います。新しい会員は新たな発想をクラブに取り込み、活力を与えてくれます。会員が増えることでクラブの奉仕の力も増します。楽しいクラブ運営と意義ある奉仕活動により退会者をなくしたいものです。SWOT 分析によりクラブの現状把握を行い会員拡大に向け具体的行動計画を作成し実践してほしいと思います。

② 【自分を磨こう】

新しいライオン・ポータルが5月8日から開始されました。会員は世界と日本語で繋がることができます。世界水準の知的リソースを享受し自らの資質向上を図りたいと思います。役割ごとの研修もあります。

新たな奉仕活動のヒントを得てクラブ活性化につなげて頂きたいと思います。

③ 【ライオンズ活動を知ってもらおう】

ライオンズ財団 (LCIF) に支援されたお金は 100%奉仕事業に使われています。私たちの地域でも有意義な奉仕活動に使うことができます。私たちのライオンズ活動を地域の人たちに知ってもらう事も大切な事だと思います。地域の奉仕ニーズに真摯に対応し、地域社会に貢献し、地域発展に繋げたいものです。



ファブリシオ・オリベイラ国際会長と



2024-2025年度 332-C地区運営方針

国際会長メッセージ

『足跡をしるす』

ライオンズクラブ国際協会332-C地区
2024～2025年度 ガバナーズローガン

『未来へ 共に奉仕の歩みを』

2024～2025年度 アクティビティスローガン

『行動を起こそう 332-Cはワンチーム』

1. 奉仕(GST)委員会

「糖尿病」・「視力保護」・「食糧支援」・「環境保全」・「小児がん」をテーマに奉仕事業を計画・実施します。

例えば

環境保全 : 「332-C地区内一斉清掃」など
食糧支援 : 「フードパントリー」など
糖尿病 : 「青少年キャンプ」へ支援など
小児がん : 子供と家族のニーズに応える
その他 : 「おゆづり会」など

2. 指導力(GLT)委員会

リーダーであるライオンの資質向上の機会を提供すると共に、国際協会が提供する各種知見を各クラブ会員に周知します。

「メンタープログラム」(基礎・上級)
「新入会員研修」
「次世代リーダー研修」
「次期三役スクール」

などの事業を実施します。

【計画策定⇨各クラブに周知⇨開催】

3. 会員増強(GMT)委員会

新クラブ結成・会員増強・退会者防止対策を検討・実施します。

- 「新クラブ結成」：新たなクラブ立ち上げが可能な地域を発掘し、結成に向けた働きかけを行い、結成を支援します。
- 「支部クラブ結成」：新たな支部結成に向け働きかけ、結成を支援します。
- 「ゾーンの統合・再編」：ゾーンのあり方について検討します。
- 「世界入会デー」：(4月最終週土曜日)新会員を祝福する行事を企画実践します。
- 「クラブ例会訪問」：クラブ活性化に向け、メイクアップ奨励や合同例会・合同アクティビティ奨励などをアドバイスします。

4. 家族・女性チーム(FWT)委員会

女性会員のライオンズクラブ結成や入会の窓口となります。
家族会員の参加を勧誘します。

例えば：

- 「女性ライオン研修会」：GMT委員会と連携し女性会員対象の研修会を企画します。
- 「ノンライオン交流会」：ライオンとの交流会を企画します。
- 「レモネードスタンド」：GST委員会と協力し小児がん支援に取り組みます。
- 「ヘアドネーション」：GST委員会と協力しがん患者支援に取り組みます。

5. 広報委員会(ライオンみやぎ)

332-C地区のライオンズクラブの活動を内外に発信します。

「ライオンみやぎ」発行：年2回(12月、6月)

「ガバナートウデー」メール配信：年6回

「アクティビティ報告」メール配信：年6回

「ライオン誌への投稿」：随時(2ヶ月に1回)

6. IT委員会

地区内のライオンが正確な情報を入手・発信できる体制を構築します。

「332-C地区のホームページ作成・管理」

「IT講習会の開催」

「子ども食堂アプリ Lタウン 管理・普及」

「国際平和コンテスト」の実施運営



7. アラート委員会

災害など非常時にライオンズクラブとして即応できる奉仕のあり方を検討し、地区内の体制を整えます。

例えば：

- 「アラートマニュアル改訂版作成」
- 「防災訓練の実施」(緊急連絡網の構築)
- 「災害発生支援(随時)」
- 「全国アラートフォーラム」参加

8. LCIF・合同アクティビティ基金管理委員会

ライオンズ国際財団(LCIF)の役割と活動状況を提供し、積極的な理解と協力を会員にお願いします。

会員一人当たり100ドルの支援を各クラブに要請されています。

- 「2024-2025LCIFセミナー」参加
- 「LCIFチャリティゴルフコンペ」の実施
- 「ガバナー公式訪問時のPR」

9. 青少年健全育成委員会

青少年の健全な成長に資するプログラムを学校や教育委員会と協力して企画・実践します。

①「ライオンズクエスト」プログラムの開催：東北福祉大学？

* ライオンズクエストプログラムは青少年健全育成を目的に開発された教育支援プログラムです。

②「薬物乱用防止教室の開催」

10. 国際関係・YCE・レオ・委員会

ライオンズクラブ国際協会は16歳から21歳の青少年男女を世界各国のライオンズクラブ間で交換し合い、交流を通じて相互理解と国際親善に資する事業（Youth Exchange：YE）を行っています。また来日した青少年が地域の青少年と幅広く交流する機会を提供しようと交流キャンプ事業（Youth Camps：YC）を行っています。

青少年に経験と機会を与え、個性豊かな人間に成長させるための奉仕活動を実践してもらい、会員間の友情、親善、相互理解の精神を育成することを目的にレオクラブが結成されています。

11. 国際大会委員会

国際大会(国際大会・オセアル会議等)参加の呼びかけと参加行程の企画を行います。



12. 3バンク委員会

アイバンク・腎バンク・骨髄バンクの啓蒙活動に協力します。



13. 眼鏡リサイクル委員会

不要になったメガネを回収し、度数を測定・分類し、洗浄した上で
途上国にメガネを寄贈しています。



ライオンズクラブ国際協会332-C地区
2024-2025年度

ガバナーズピン

羽ばたくイヌワシが運ぶライオンズマーク

ガバナーの出身南三陸町の鳥はイヌワシ(golden eagle)であり、東北楽天イーグルスのマスコットキャラクターでもあります。宮城県332-C地区のイメージにつながり羽ばたく犬鷲に5つのリジョンをイメージさせる星をつけています。332-Cの文字は楽天カラーのグリムゾンレッドの上に金文字で浮き上がっています。雄々しく羽ばたくイヌワシのように、ライオンズクラブが未来に羽ばたいてほしいという願いを込めています。



なお、南三陸町の出身である佐藤久一郎ガバナーは林業が家業であり、所有山林の一部が翁倉山に隣接しイヌワシの生息域になっています。イヌワシを頂点とする生態系が南三陸の自然環境が豊かな証拠となっていました。残念ながら東日本大震災以降イヌワシの生息が確認できなくなりました。ガバナーの会社は現在、国有林・南三陸町・石巻市・登米市とともにイヌワシ生息環境再生プロジェクトに取り組んでいます。



感謝の文字

1960年に起きたチリ地震津波の支援を縁に志津川にライオンズクラブができ、2011年の東日本大震災で壊滅的被災した南三陸町に世界中から支援を頂いた事に「感謝」を胸に秘めてライオンズ活動に取り組んで行きたい。

ライオンズクラブは地域の抱える問題に取り組むだけでなく、自然災害などからの復興ため、行政ではできないきめ細やかな支援を世界規模で行っています。ライオンズクラブ国際協会の会員である事に感謝し、共にチームとして活動して頂いているライオンズ仲間に「感謝」をしたい。